

いのちを めぐる対話

人間の尊厳を みつめて

ひとつのいのち。生命は等しく人に与えられている。生は私たちそのものである。しかし、技術の進歩は、生命そのものにまで向けられ、人の誕生から病い、老い、そして生命の終焉までを変えつつある。さらに、生と死の境界は、法と政治によってこれまでにないかたちで線引きされ、あるいは分断されようとしている。こうした、いのちを取り巻く環境が変容しつつある現代社会において、「人間らしく生きる」ための条件とは何か。法、倫理、宗教、家族、医療などさまざまな角度から「いのちの現在」に迫り、人間の尊厳をみつめなおしてみたい。

講座責任者：遠藤 美奈(法学部教授)
平井 佐和子(法学部准教授)

開講期間 2012年5月28日～7月9日
毎週月曜 [全7回]

時 間 各回 18時30分～20時
5月28日(月) 開講式
18時20分～18時30分
7月 9日(月) 修了式
20時00分～20時10分

会 場 西南学院大学 東キャンパス内
西南コミュニティーセンター
1階ホール

受講対象者 一般(高校生、大学生、大学院生を含む)

定 員 150名

受講料 4,000円(高校生2,000円)
[全7回合計]

応募期限 2012年5月7日(月)必着
ただし、その前に定員に達した場合は、
締め切らせていただきます。

第1回
5月28日(月)

キリスト教的死生観： 生の質とその保護

松見 俊(神学部教授)

第2回
6月4日(月)

いのちを撮る

伊勢真一(映画監督)／田村元彦(法学部准教授)

※6月3日(日)に西南コミュニティーセンターにおいて伊勢監督の「大丈夫。—小児科医・細谷亮太のコトバ—」の上映会を実施します。有料。後日大学HP等で告知します。(2011年度キネマ旬報ベスト・テン 文化映画1位)

第3回
6月11日(月)

家族をみつめて—家族の崩壊と再生

坂梨 喬(法学部教授)

第4回
6月18日(月)

人間の尊厳と生命倫理

田中智彦(東京医科歯科大学教養部准教授)

第5回
6月25日(月)

エンハンスメント

—健康の回復・維持を越えた医学的介入
毛利康俊(法学部教授)

第6回
7月2日(月)

いのちと人生の交わり

—ハンセン病療養所の鐘、
ハンセン病問題と死刑制度
八尋光秀(弁護士)／平井佐和子(法学部准教授)

第7回
7月9日(月)

「いのち」と憲法

遠藤美奈(法学部教授)

